

Xantia



CITROËN

独創は、しなやかに独走を続ける。
シトロエン エグザンティア

本当の個性なら時と共に深まる。そのことを教えてくれる車があります。

しなやかな走りと先進の機能を、合理的なパッケージに包んだシトロエンの会心作、エグザンティアが
よりスタイリッシュに変貌をとげました。自らが先達となることをためらわない、
大胆な発想と技術への挑戦が生んだしなやかな乗り心地と、独創的かつ流麗なスタイル。

力感を優美に表現する、新しいフロントマスクのイメージに
ふさわしく、走りはより鮮烈に、居住空間はより優雅に。クルマの理想を追い続ける
シトロエンのイノベーション・スピリットへの喝采は鳴りやみません。

Xantia

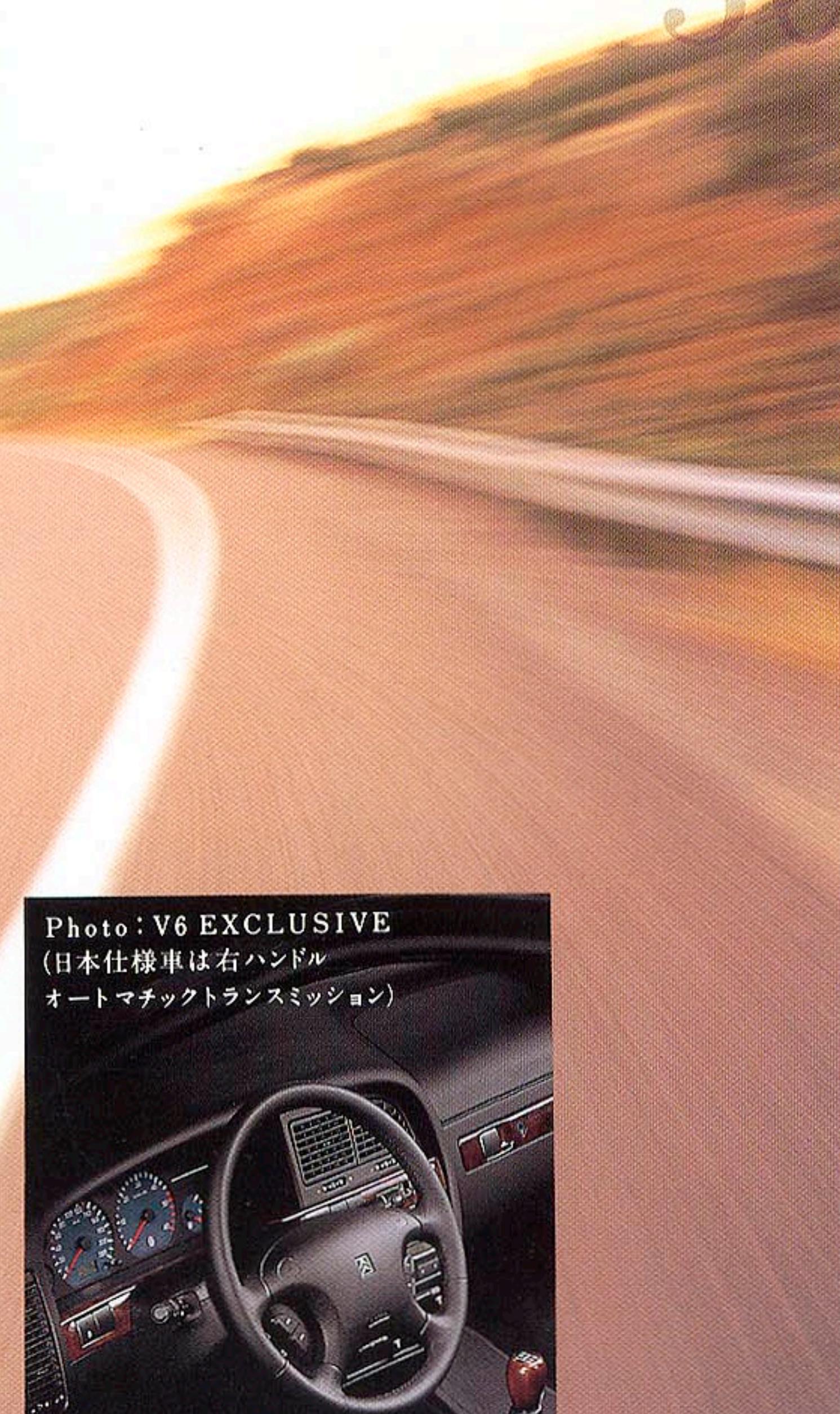




3ℓ V6 Sedan

3ℓ V6エンジンがもたらす新たな走りの地平。
美しい力が、この車にはあります。

アクセルを踏み込むと、確かに伝わる豊かなトルクと胸のすくような加速感。
そのスポーティな味わいを堪能している時もドライバーをつつむ、しなやかな乗り心地。
力強い3ℓ V6-24バルブDOHCエンジンと
シトロエン独自の油圧制御ハイドراكティブⅡサスペンションシステムの
絶妙なマッチングによるしなやかな走りが、
新たなミディアム・プレステージの世界を切り拓きました。



Xantia V6
EXCLUSIVE

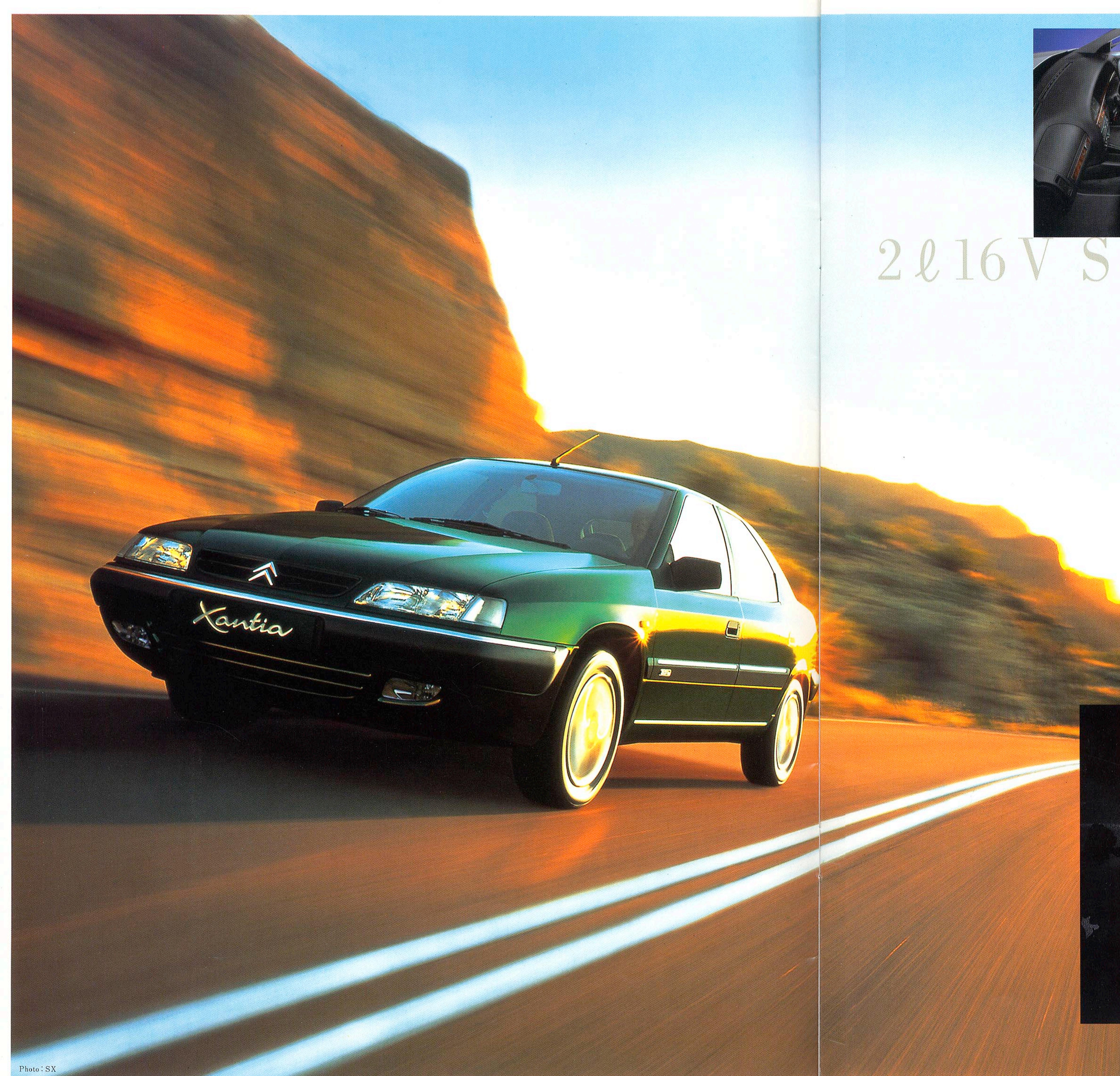


Photo: EXCLUSIVE

2ℓ16V Sedan

乗り心地のよさとは、長く乗っていただいて
感動が薄れない性能です。

ハッチバックのもつ優れたユーティリティをクリーンなセダンイメージの
フォルムの中に実現。合理性と快適な居住性の両立を追求するシトロエンの自由で大胆な
発想から生まれたスタイルはヨーロピアンサルーンに新たな世界を確立しました。
独自の油圧制御サスペンションとロングホイールベースによる感動的ともいえる、
伝統のしなやかな乗り心地。2ℓ-16バルブDOHCエンジンと
3モード電子制御4速オートマチックトランスミッションを新たに搭載し、
走りはより余裕に満ち、力強く。そのオリジナリティは世界を魅了し続けます。

Xantia

EXCLUSIVE
&
SX



2ℓ 16V Break

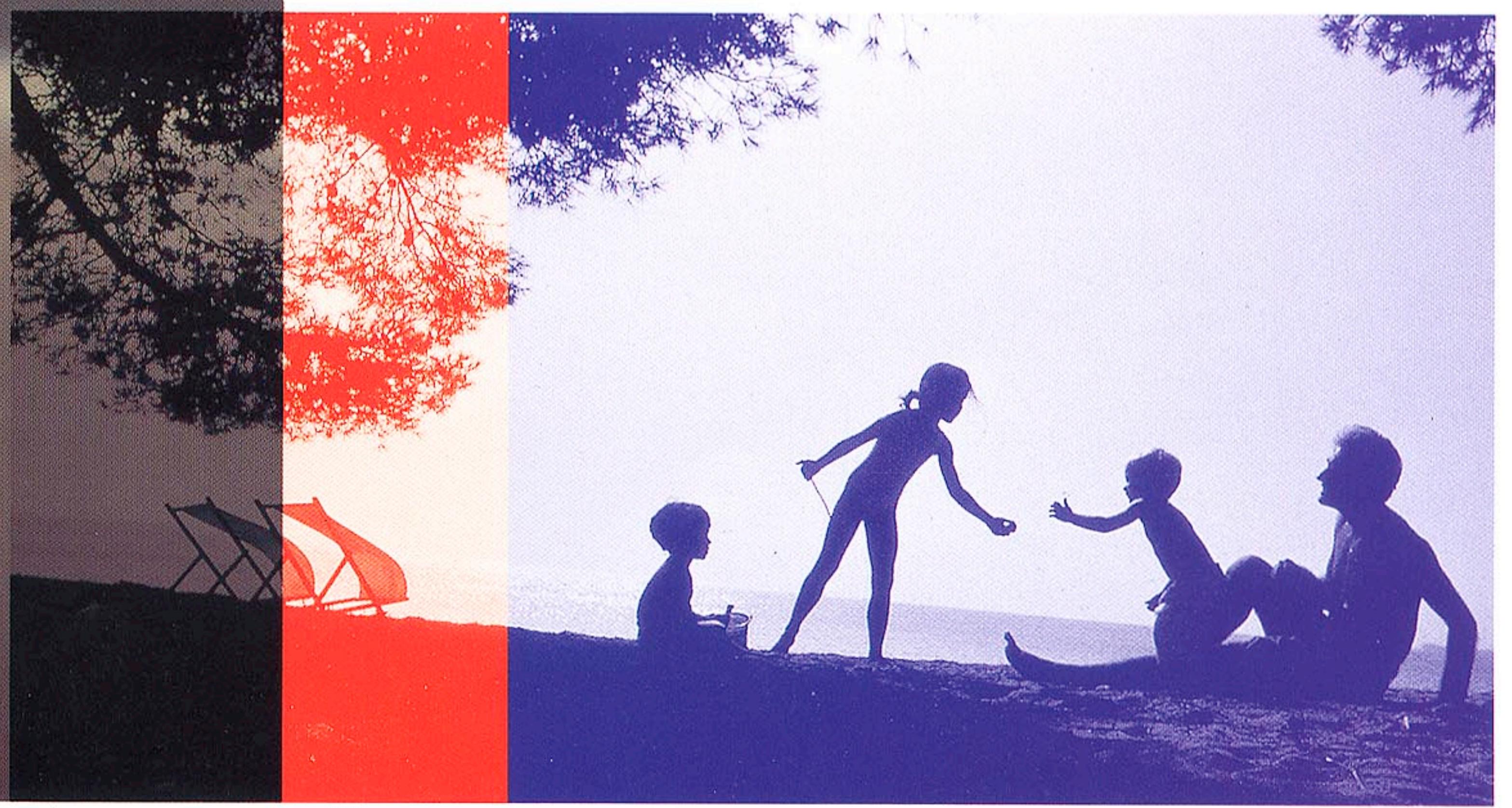


合理主義とモードの国から生まれた
利便性とエレガンスの蜜月です。

長いバカンスを楽しむフランス人たちにとってワゴンは、
生活に寄り添った愛すべき道具です。ラゲッジルームの広さと使い勝手のよさ。
国境を超えるロングツーリングにも疲れないしなやかな走り。
華やかな休日にふさわしい、優雅で個性的なスタイル。求められる条件が多いほど、
この車の存在が際立ちます。ただたくさんの荷物を載せる車としてだけではなく
家族と友人と、人生を楽しむ車として。

Xantia

BREAK EXCLUSIVE
&
BREAK SX



本当に優れた技術なら、先達のない道も歩み続ける。 ハイドراكティブIIサスペンションは、その象徴です。

エグザンティアのしなやかな走りを支えているのは
オイルとガスを使用した独創的な油圧制御サスペンションシステム
「ハイドراكティブII」と「ハイドロニューマチック」。
走行中の車の動きを常にフラットに保つことを目指し
さまざまな路面状況の変化にフレキシブルに対応する
比類なき快適な乗り心地と優れた走行安定性を実現しています。



ハイポジション



ノーマルポジション



ロー ポジション

◎ ハイドراكティブIIサスペンションと
ハイドロニューマチックサスペンションがもつ
ユニークな機能、ハイトコントロール機構。
油圧制御によりシーンに応じて
任意に車高が変えられます。

ハイドراكティブIIサスペンション

シトロエンの伝統的な美質といわれる「しなやかな走り」。その個性的な味わいをもたらしている独自技術のひとつが、油圧制御ハイドロニューマチックサスペンションです。V6、EXCLUSIVE、BREAK EXCLUSIVEでは、このシステムをさらに進化させた「ハイドراكティブII」サスペンションを採用。クルマの各所に設置したセンサーにより、コンピュータがクルマの動的な変化を予測し、サスペンションセッティングを瞬時に変更して運転をアシストします。セッティングはノーマルモードとスポーツモードの2種類。通常のノーマルモードでは、路面の状況に合わせてサスペンションをソフト/ハードに切り替えます。スポーツモードへの変更はスイッチ操作ひとつ。時速30キロ以下ではノーマルモードで走行し、それ以上ではハード状態を維持。走りに応じた理想的なサスペンションセッティングを提供します。

ハイドロニューマチックサスペンション

SXおよびBREAK SXに採用されているのは、

半世紀近くにわたり熟成が重ねられた「ハイドロニューマチック」サスペンション。従来のスプリング・サスペンションとは構造自体から一線を画し、オイルとガスによって独自のソフトな乗り心地を生み出します。自動車史に燐然と輝くその先進性と独創性は、シトロエンのもつアヴァンギャルドなイメージの原点といって過言ではありません。ハイドراكティブIIサスペンション同様、以下に述べるようなシトロエン独自の機能を発揮します。

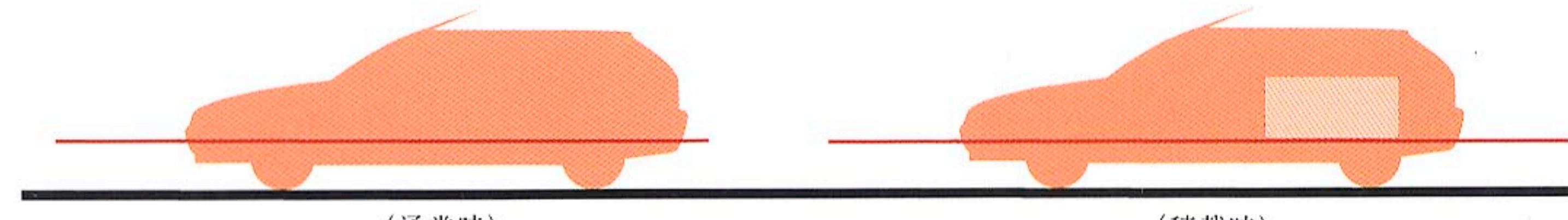
セルフレベリング機構

シトロエン独自の油圧制御により、乗員や荷物の積載状態にかかわらず、常にボディを路面に対して平行に保つ機能。例えば家族5人が乗り、たくさんの荷物を積載した場合でも、リアが沈み込むことがなく走行安全性の低下を抑えます。広大なラゲッジベースが様々な用途で使われるBREAKでは、特にその威力を發揮。ヘッドライトの照射角もほぼ一定に保てる、シトロエンならではの安全性能です。

ハイトコントロール機構

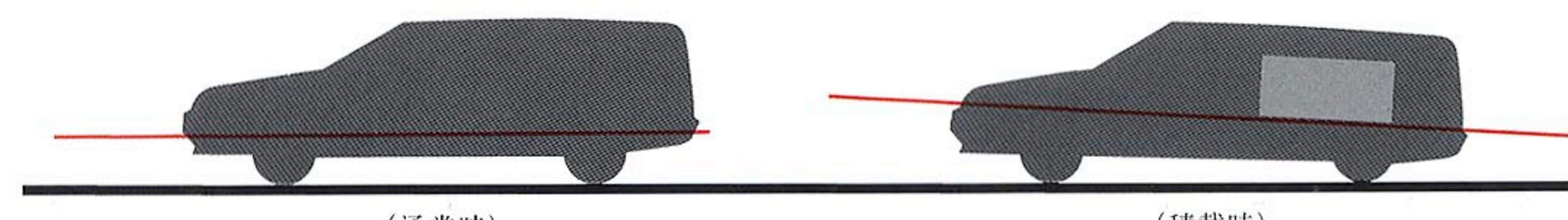
レバー操作ひとつで油圧をコントロールし、必要に応じて車高を4段階(ロー、ノーマル、ミドル、ハイ)のポジションに変えることのできる機能です。通常はノーマル、荷物の積み降ろし時はロー、深いわだちのある未舗装路は充分に速度を落としてミドル。さらにタイヤ交換時やチェーン装着時は一旦停止してハイポジションにするなど、状況に応じて車高を任意に調節できる機能です。

◎ エグザンティアブレーキ



ハイドراكティブIIサスペンションシステム

◎ 一般的なワゴン



(通常時)

(積載時)

◎ 一般的なワゴン



(通常時)

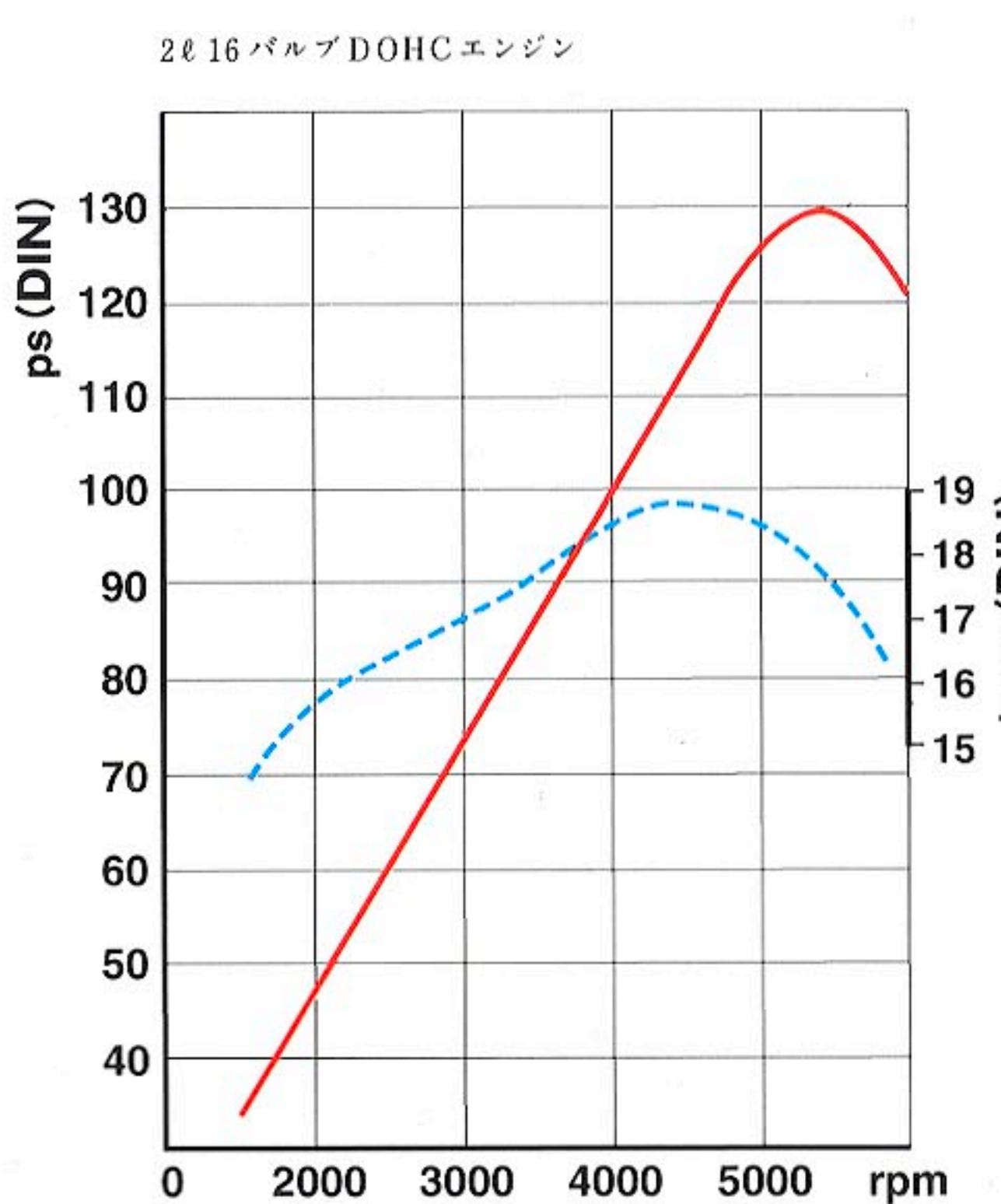
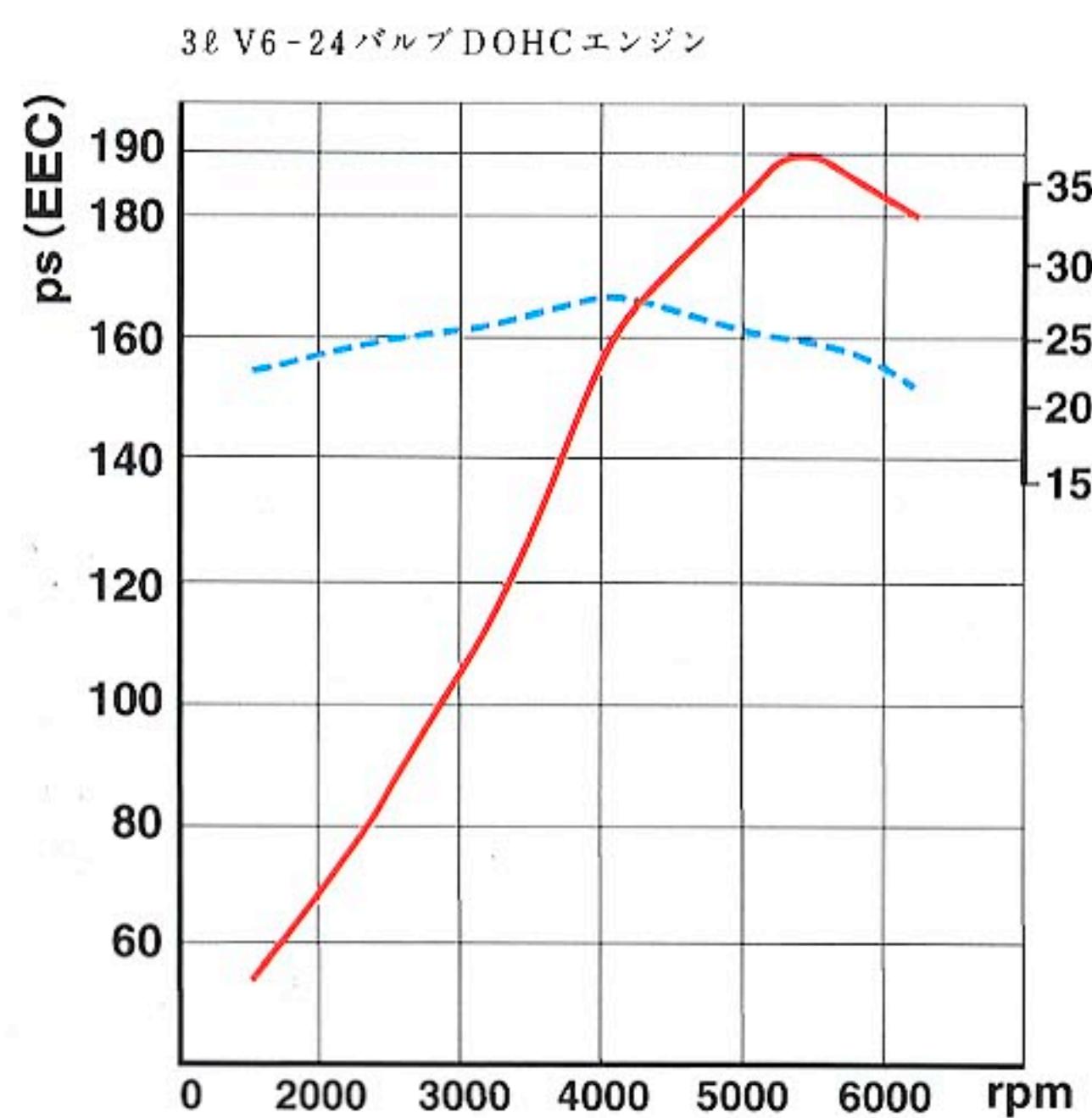
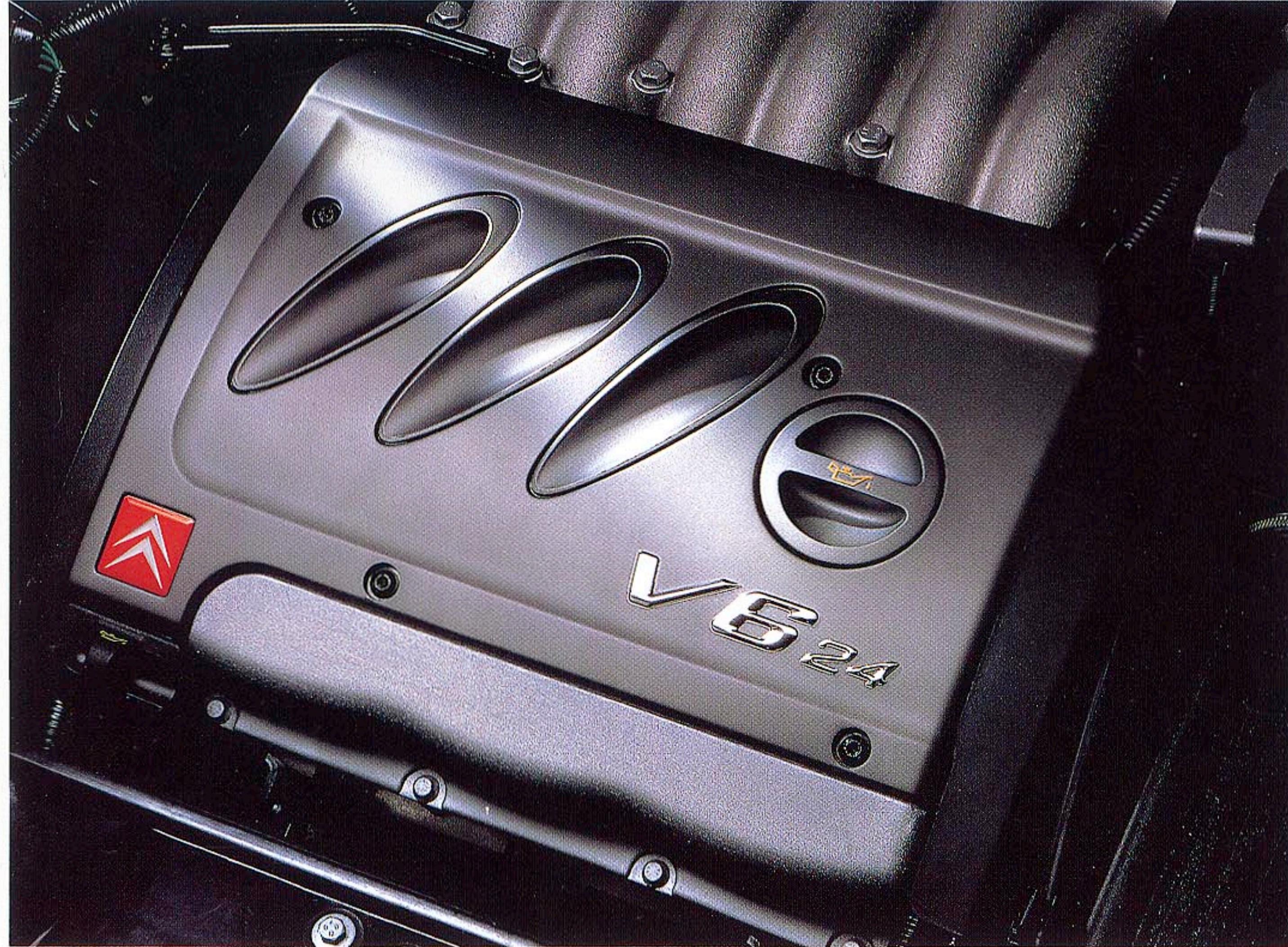
(積載時)

ラゲッジベースに荷物を満載しても、常に路面に対してボディを平行に保つセルフレベリング機構

ROAD-HOLDING



動き出した瞬間に感じるパワーの奥行き。
しなやかな走りのための、理想的な進化を遂げました。



3ℓ V6-24バルブ DOHC エンジン

3ℓ V6-24バルブ DOHC エンジンは、最高出力 190ps/5,500rpm、最大トルク 27.7kg·m/4,000 rpmを発揮。V型6気筒ならではの滑らかでスムーズな回転フィールをもつ、パワフルな心臓部です。スタート時の快適な加速感や日常走行での使い勝手を重視し、わずか2,000rpmという低回転域で最大トルクの88%を発生。それを6,000rpmまで持続させることで、アクセルの応答性に優れたのびやかな加速を実現しています。車内の静かさもしなやかな乗り心地に寄与する大切な性能と考えるシロエンでは、静肅性には特に配慮。余裕のパワーを秘めながらも、常にシロエンらしいジェントルなたたずまいを忘れません。点火時期や燃料噴射は、3モード電子制御4速オートマチック

トランスミッションと連携しながらコンピュータが自動制御。先端のシロエン・テクノロジーが注ぎ込まれた、新世代エンジンです。

2ℓ-16バルブ DOHC エンジン

エグザンティアの2リッターモデルには、吸気用、排気用に独立したカムシャフトをもつ直列4気筒16バルブDOHCエンジンを新たに採用。経済性、耐久性、静肅性といった従来の特徴を引き継ぎながら、DOHC化により最高出力、最大トルクとも向上。エグザンティアのしなやかな走りに、一層の余裕をもたらしました。リファインのベースになっているXU系エンジンは、シロエンですでに800万基以上も生産されているものだけに、信頼性の高さはいうまでもないもの。さらに三元触媒の使用によって、環境にも配慮しています。スペック

上の数値で語る性能ではなく、ハンドルを握ったときに実感できる快適な加速感と走行フィールが重視されたエンジンです。

3モード電子制御4速オートマチック

トランスミッション

走りのスタイルや道路状況によって走行パターンを3つのモード(標準、スノー、スポーツ)からワンタッチで選択することができる、新開発のインテリジェント・オートマチックトランスミッション。学習機能を備え、運転スタイルや走行状況に応じトランスミッションをファジー制御。車を操る楽しさに加え、マニュアル車に迫る優れた燃費性能を発揮します。また、誤操作が起きにくく、高級感のあるスタガート式へと、スタイルも一新しました。



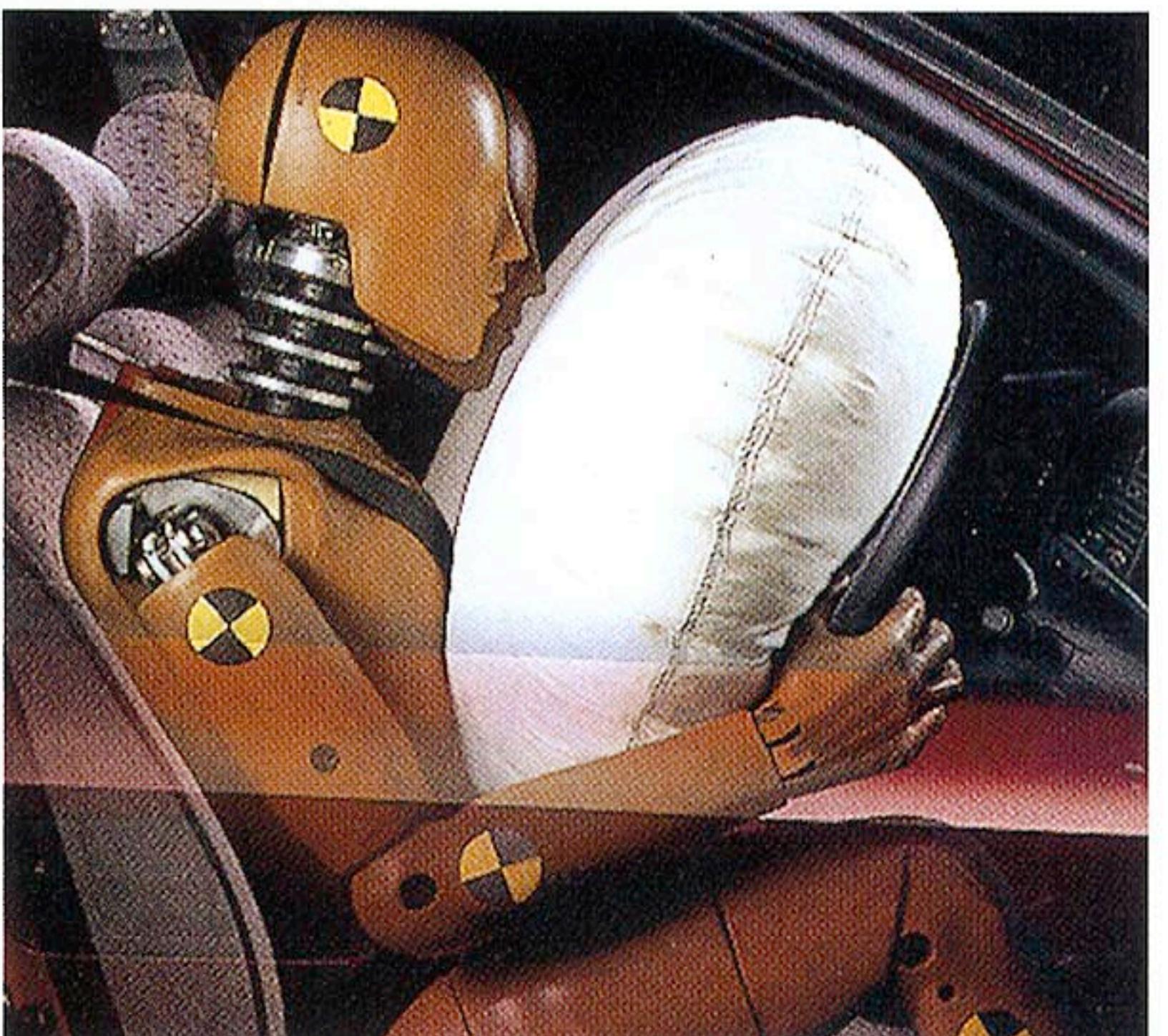
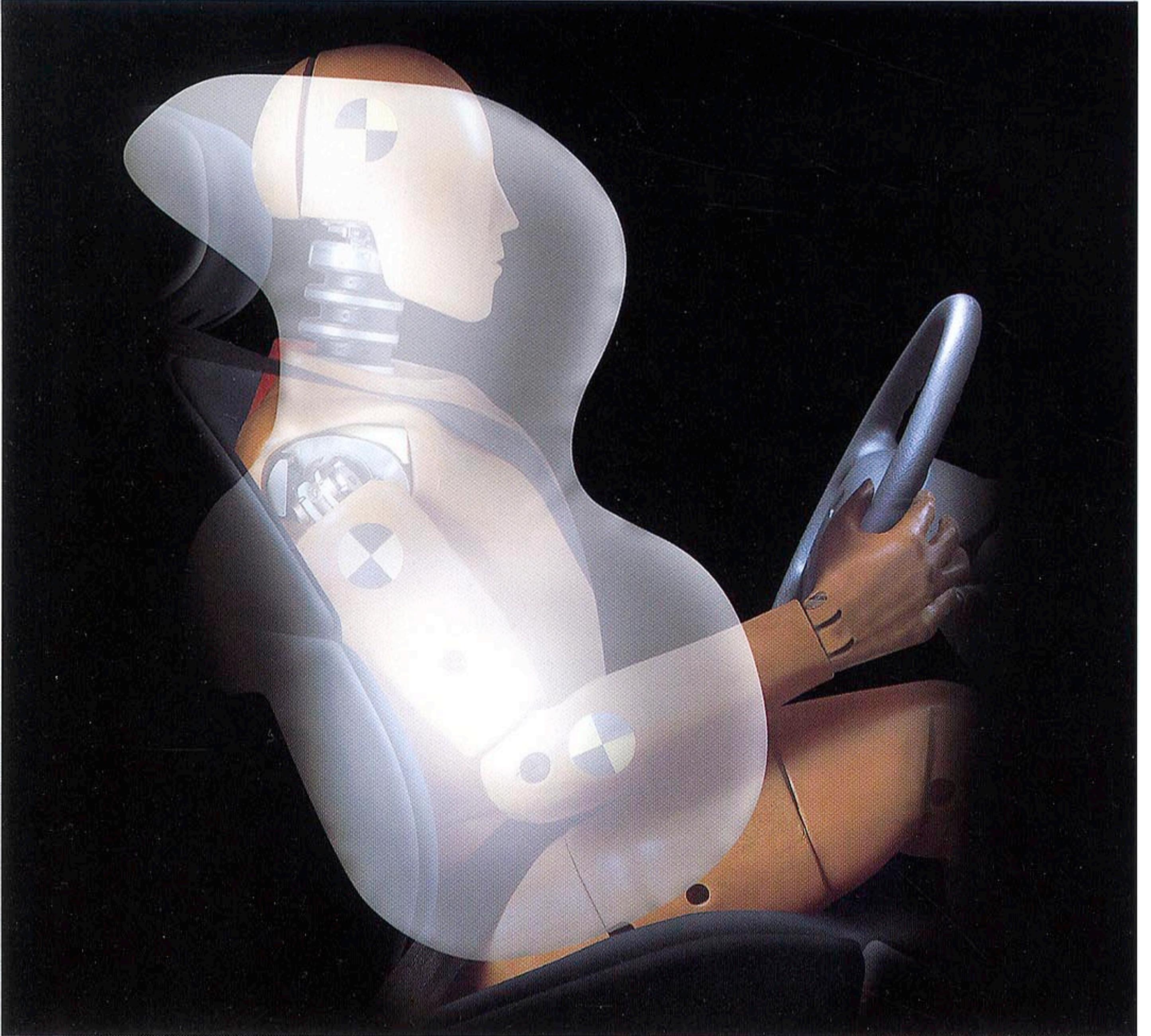
Photo : V6 EXCLUSIVE

PERFORMANCE



Photo : EXCLUSIVE

運転席・助手席・フロントサイドエアバッグを全車に搭載。
2003年欧州基準をすでにクリアする安全性能です。



グローバルセーフティ思想

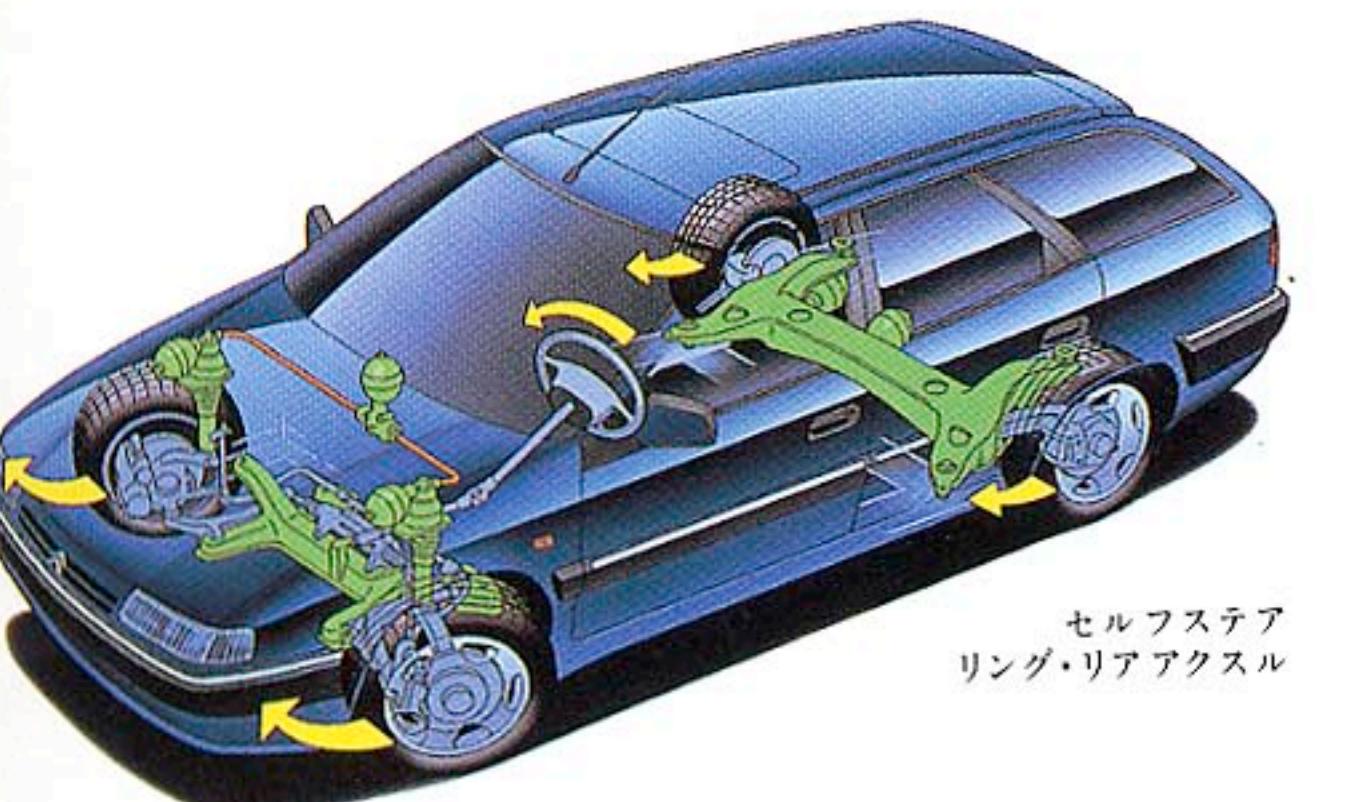
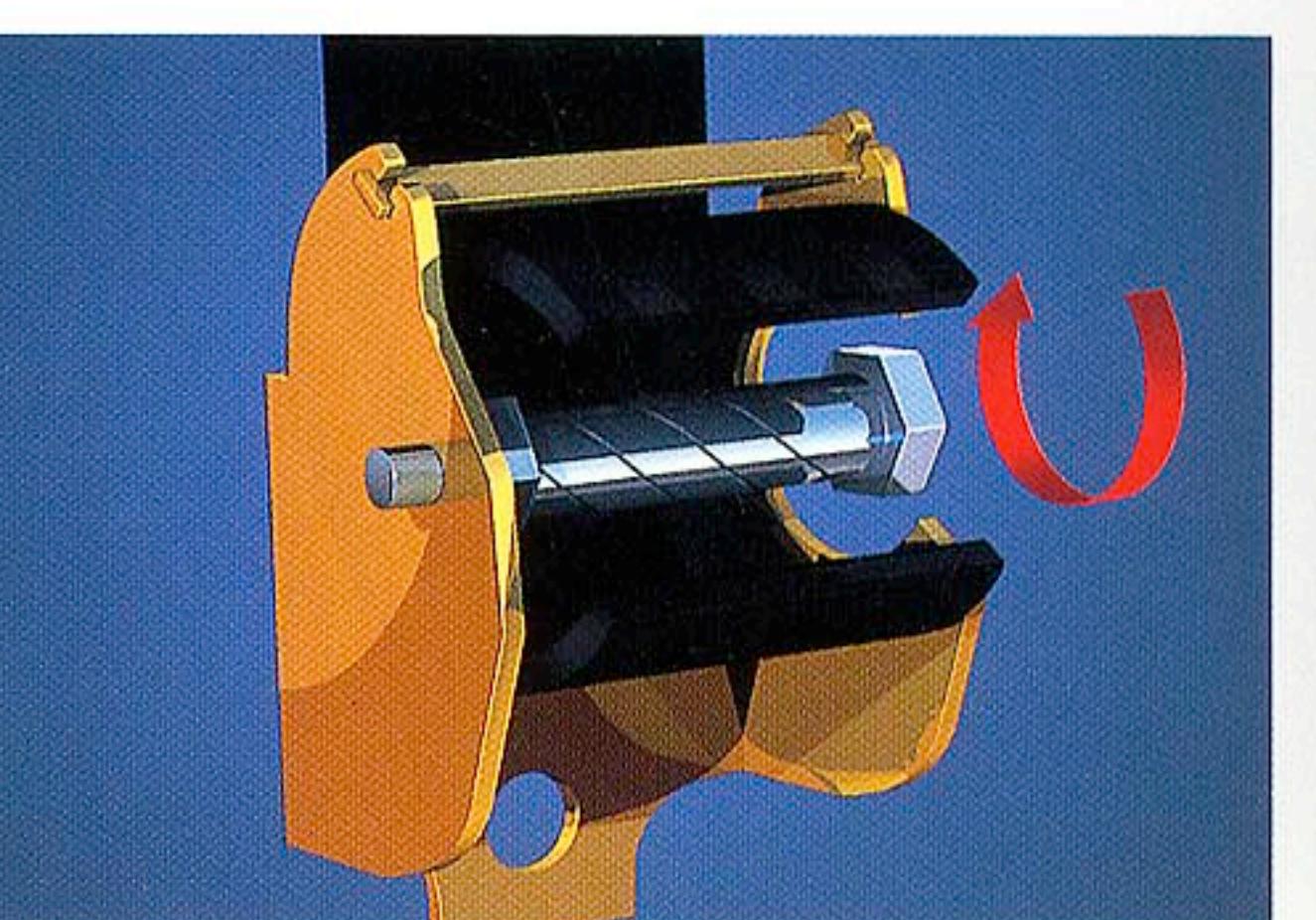
クルマのまず第一の安全性能は、ストレスの少ない快適なドライビング空間の提供であるとシトロエンは考えます。しなやかな走りを提供する独創の油圧制御サスペンションシステム。ゆとりの車内空間と直進安定性をもたらすロングホイールベース設計。前後左右の視認性に優れ、車内の解放感がドライバーに余裕をもたらす広いガラスエリア。ソフトな座り心地で、長時間の運転でも疲労感の少ないシート構造。これらシトロエンならではの「アクティブセーフティ」で事故を未然に防ぎ、万一の事故の際にはフロントサイドエアバッグをはじめとする先進の「パッシブセーフティ」で損傷を軽減します。二つの安全思想の高次元での融合。それがシトロエンの「グローバルセーフティ思想」です。

フロントサイドエアバッグ

エグゼンティアでは、側方からの衝撃の際に、頭部を含めた上半身を保護する大型のフロントサイドエアバッグを新たに全車に標準装備。センターピラーに内蔵された2つのセンサーが衝突を感じて、フロントシートに内蔵されているエアバッグがそれぞれ独立して作動。シートポジションにかかわらず、万一の際に運転席と助手席の乗員の衝撃を軽減します。

SAFETY

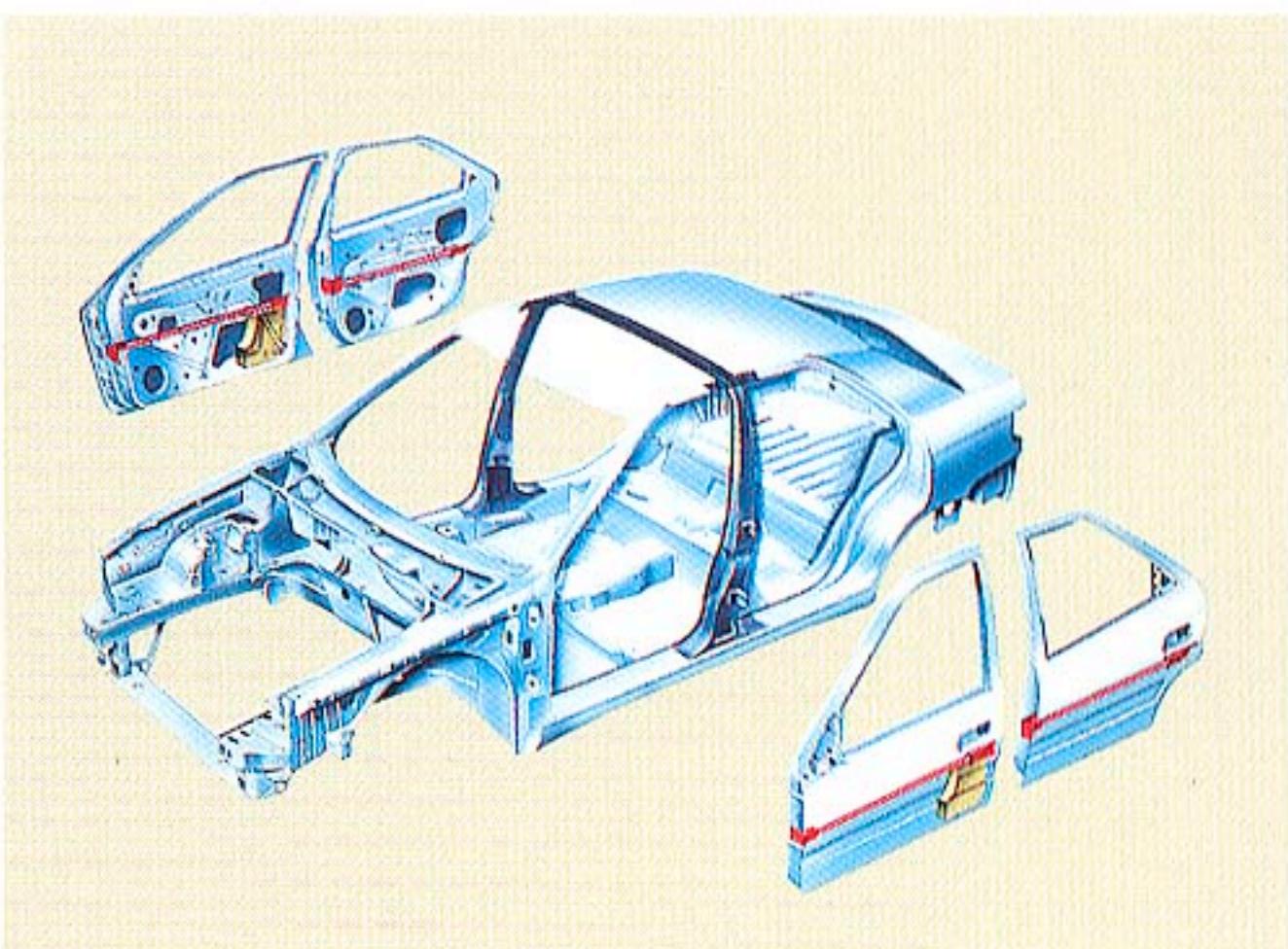
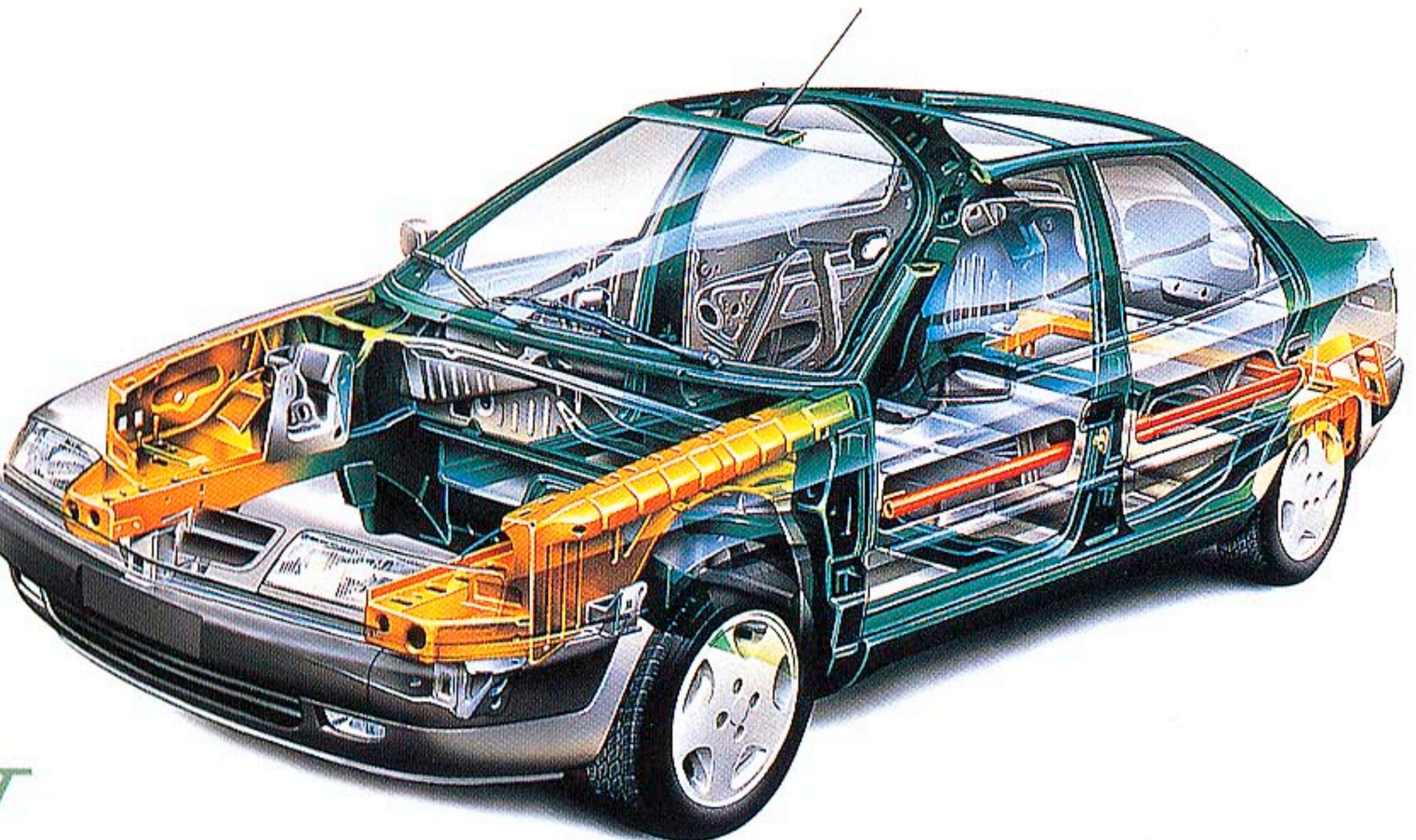
デュアルエアバッグ&高性能シートベルト
運転席と助手席の乗員の前方からのダメージを最小限に抑えるデュアルエアバッグを全車に標準装備。前席には、エアバッグが膨らむ前に瞬時にシートベルトのたるみを取り、体をシートに固定するプリテショナー機構付シートベルトを採用。さらにフォースリミッターがベルト圧を調整し、胸部への負荷を軽減します。また、後席の使用頻度が高いBREAKモデルのリアシートには、ELR3点式シートベルトを全席に装備して、家族全員のための安全を高めています。



側にふくらもうとするクルマの動きを抑えることで、コーナーリング安定性を向上させます。

4W-ABS(四輪アンチロックブレーキシステム)

ブレーキシステムは、対フェード性に優れたフロント・ベンチレーテッドタイプの4輪ディスクブレーキ。4センサーの4W-ABSを標準装備し、滑りやすい路面での急ブレーキの際などタイヤのロックを防ぎます。また、信頼のハイマウントストップランプやツインリアフォグランプ、鏡面の曇りを取り除き後方視界の低下を抑えるデフォッガー付ドアミラーなど、未然に事故を回避するアクティブセーフティのための装備を充実させています。

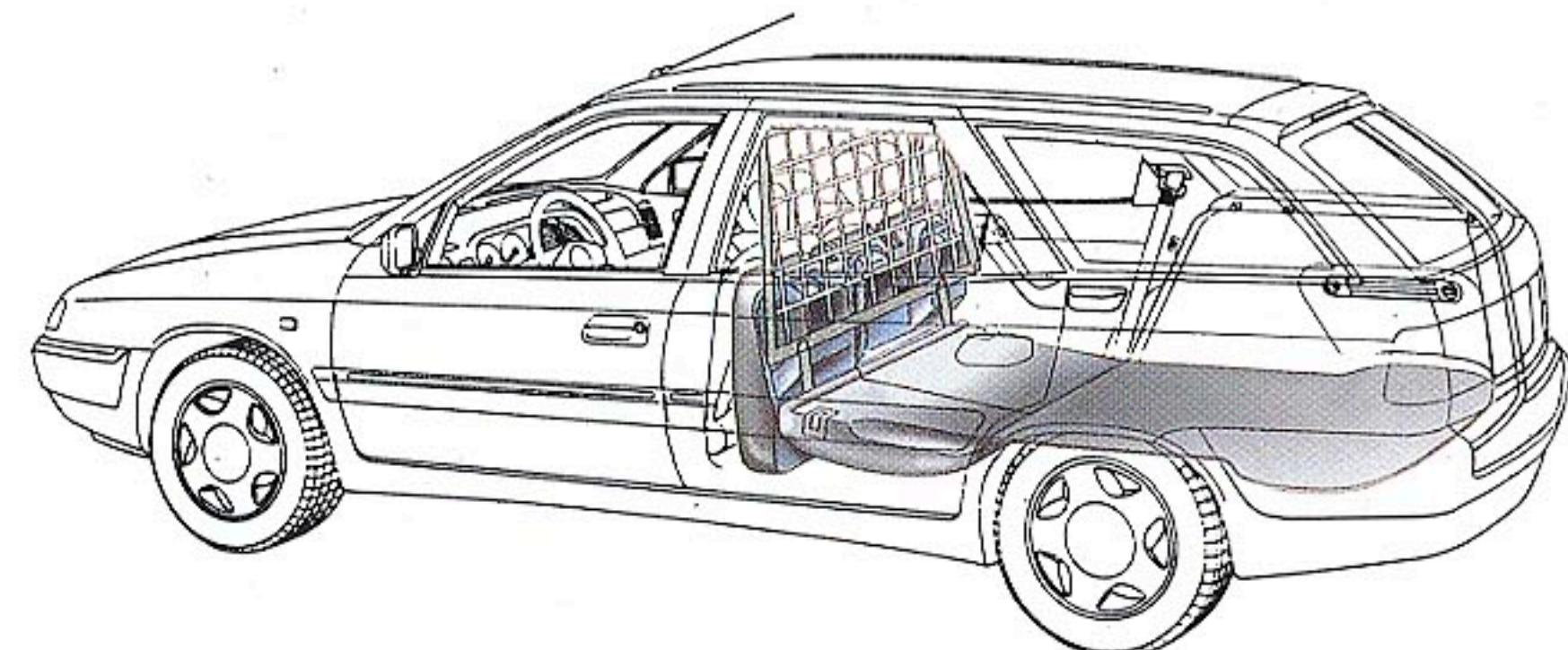
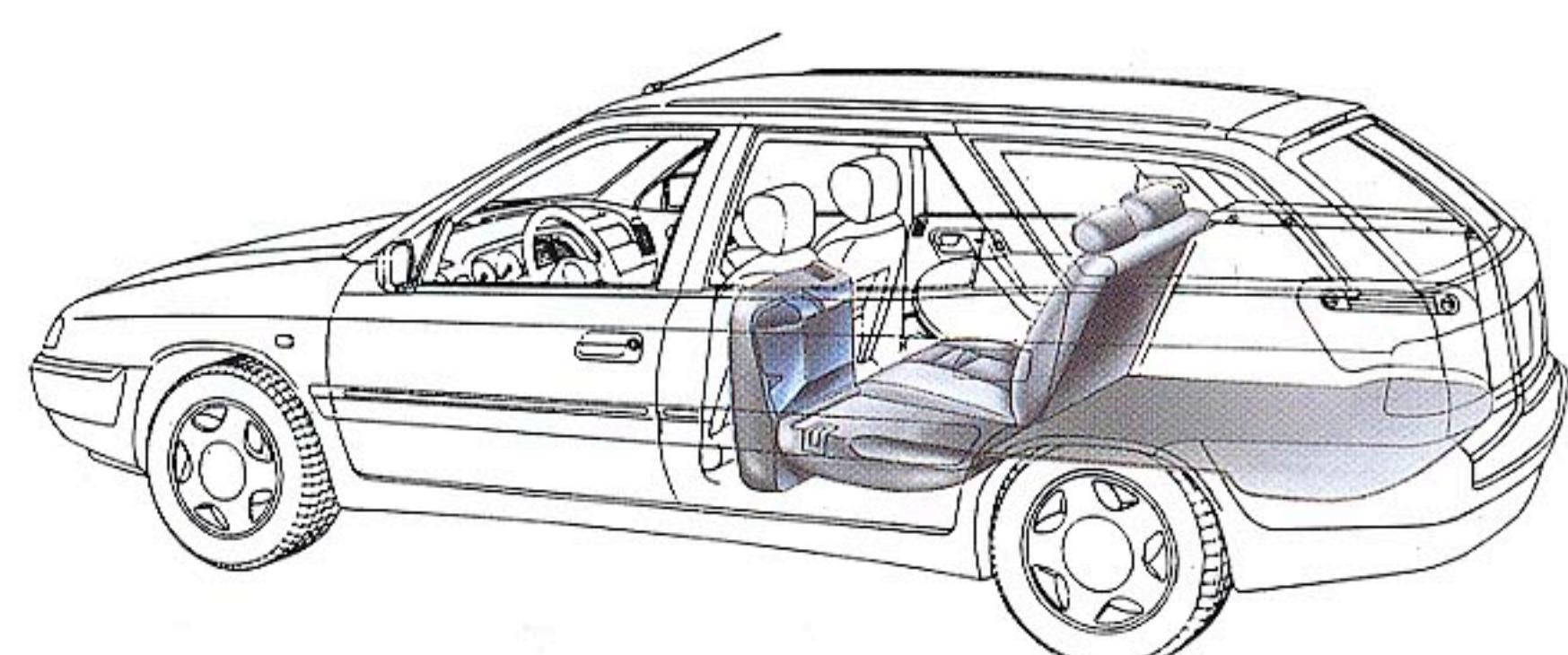
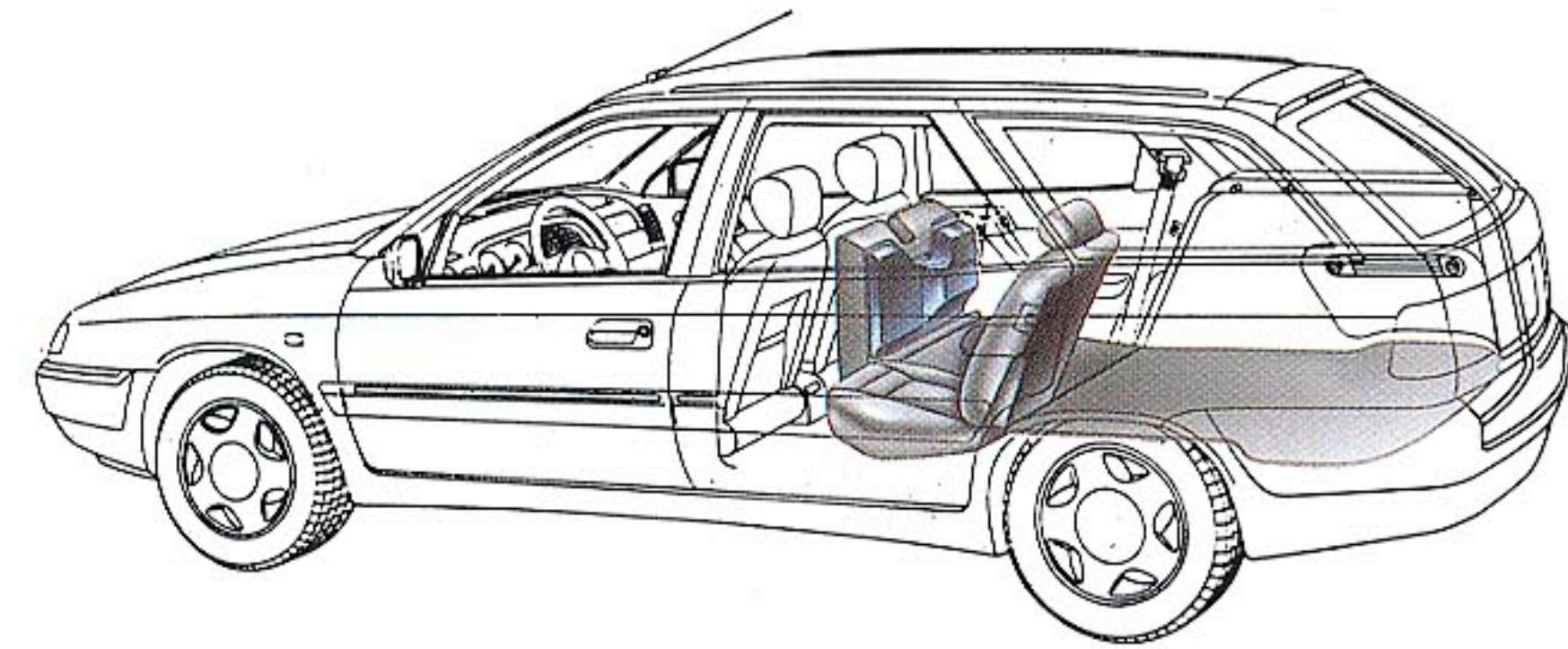
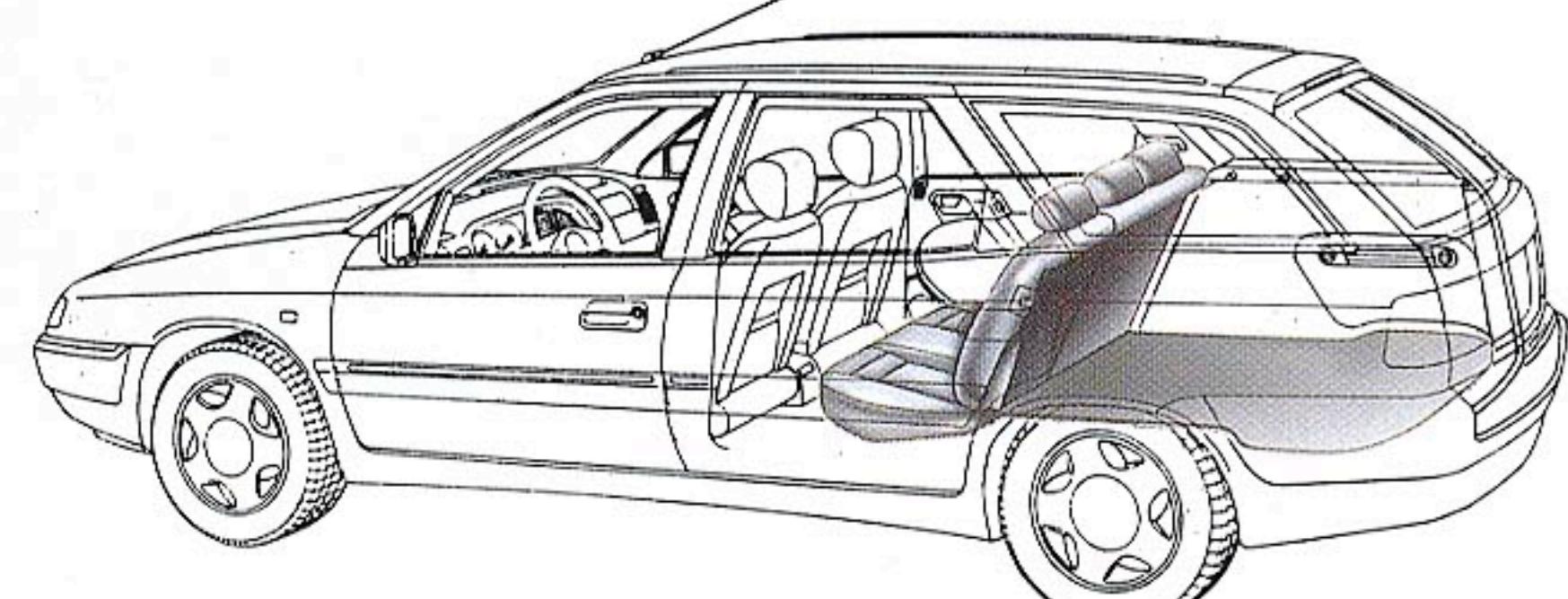


高剛性HLEスチールボディ

エグゼンティアのボディ構造は、ドアや車体下部に高い強度を実現するHLEスチールを採用した高剛性設計。車体の大部分は強化パネル構造を採用しているため、重量をさほど増やすことなく、車室の剛性の確保に成功しました。フランスの「交通事故・生体工学研究所」との共同作業により、欧州基準を上回る衝突速度でのテストを積み重ね、さまざまな安全配慮を行っています。また、側面衝撃への対応には一層の強化が図られ、左右のBピラーの間にルーフを横断するように設けられた強化ルーフバーが側面からの衝撃の大部分を吸収。フロントドアパネルには従来のサイドインパクトバーに加え、側面衝撃吸収パッド(サイドインパクトアブソーバー)を内蔵。先進の安全技術により、2003年に義務化される欧州基準を上回る性能を実現しました。



気づかれましたか。車のもっとも知的な部分は
パッケージングだということに。

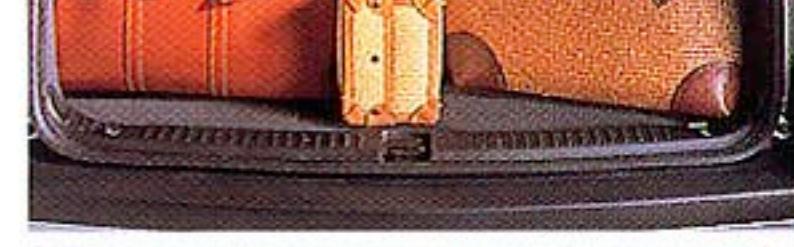


◎荷物の容量と乗員数に応じて
優れたユーティリティ機能を発揮する6:4分割可倒
ダブルフォールディング機構付リアシートを採用。
常に最適なシートアレンジが可能です。
(イラストはフランス仕様)

シトロエンのパッケージング思想

状況に応じ後部シートを倒すことでラゲッジスペースを自在に活用できるハッチバック。その優れたパッケージングに古くから着目しているシトロエンは全車種でハッチバックを採用。ハッチバックの実用性を活かしながら、自由な発想で、フォマルにもカジュアルにも乗りこなせる「新しいセダンスタイル」を創出したい。

このエポックメイキングなテーマの下に誕生したのがエグザンティアです。だれもそれまで目にすることのなかつたスタイルでありながら、どんなシチュエーションにもなじむ、上質なたたずまい。そのエグザンティアの美意識と合理性は、BREAKによってさらに高い次元で融合。新しいヨーロピアンワゴンの規範を打ち立てました。機能から発想された形は、知性に磨かれて美をまとう。そのことをエグザンティアは沈黙の中に語ります。



たスタイルでありながら、どんなシチュエーションにもなじむ、上質なたたずまい。そのエグザンティアの美意識と合理性は、BREAKによってさらに高い次元で融合。新しいヨーロピアンワゴンの規範を打ち立てました。機能から発想された形は、知性に磨かれて美をまとう。そのことをエグザンティアは沈黙の中に語ります。

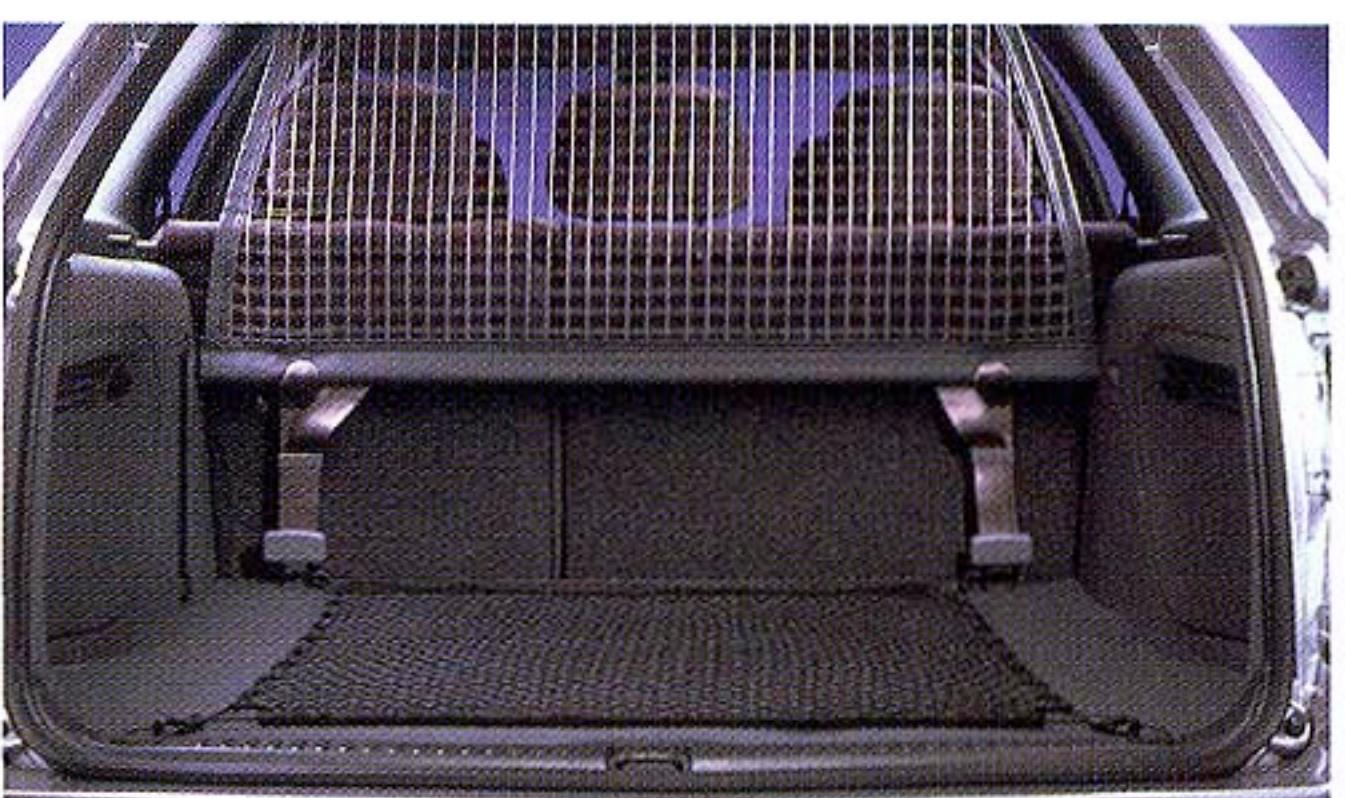
伝統のロングホイールベース

ロングクルージングでも疲れにくい直進安定性に優れ、広いキャビンスペースを確保できるロングホイールベース設計も、シトロエンの伝統です。もちろんエグザンティアもこの伝統を継承し、2740mmというトップクラスの数値を確保。ワンランク上の居住空間を実現しています。また、余裕の室内空間では、シトロエンならではの合理性によるさまざまなユーティリティを実現。フロントドアパネルにはA4サイズのポケット、アームレストには小型地図など小物が入るポケットなど、収納スペースを豊富に備えています。

多彩なシートアレンジ&ユーティリティ

6:4に分割可倒できるリアシートを全車種で採用。乗員の数や荷物の量に応じて、さまざまアシートアレンジを提供します。ラゲッジルームは積載効率のいいフラット&スクエア設計。BREAKモデルのリアゲートはラゲッジフロアの高さから開き、車高を低くできるハイコントロール機構とあわせて、荷物の積み下ろしを容易にしています。さらにラゲッジルーム容量を拡大できるダブルフォールディング機構付リアシートを採用。セダンタイプで878l、ワゴンタイプのBREAKで最大1690lまで広げることができます。奥行き、幅、高さともに満足のいく収納力を誇ります。

BREAKのリアパッケージトレイはラゲッジルームの一部を隠したまま背の高い荷物も積めるアイデアあふれる装備。カーゴルームの両サイドトリムには、便利な小物入れも設けています。また、カーゴセパレートネットを標準装備し、使い勝手と共に安全性を高めています。さらにBREAKは、薄



型でスタイリッシュなルーフレールを装着。カバー付のルーフキャリア取り付け口が組み込まれていますので、キャリア装着の際に便利です。

広いガラスエリアによる解放感

解放感のある広いガラスエリアと、低いボディラインにより、車内への採光を高めると同時に、視界のよさを確保しています。視認性の高いインパネ計器類、カラー・バランスを考えたインテリア、厳選された材質などが明るく広々としたつるぎを生み出しています。



Photo: BREAK EXCLUSIVE

PRACTICALITY

Xantia

LINE-UP



V6 EXCLUSIVE/EXCLUSIVE



SX



BREAK EXCLUSIVE



BREAK SX

Xantia

SEIBU 新西武自動車販売株式会社
〒170-6053 東京都豊島区東池袋3-1-1サンシャイン60 53F TEL.03(3989)7511代